

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス千駄木教室	公表日	2026年 1月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	工夫している点・改善が必要と思われる点など  1・利用者が安全に活動できるように、教室の過ごし方をわかりやすくルール化し、教室の限られたスペースで、子どもが自分の遊びや活動を十分にできるようにしています。 2・職員配置につきましては、現在配置基準は満たしています。療育の質の向上や今後の利用者の増加を視点に入れながら、ニーズに合わせた職員採用を検討していきます。 3・教室の構造上、段差がある場所には、注意を向けられるよう色テープを貼って目立つよう工夫しています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	40%	60%	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	40%	60%	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	9・組織体制が十分ではなく、第三者評価を行うことが出来ておりません。ガイドラインに沿った保護者向け評価をしっかりと行い、その結果をもとに問題点、改善点を明確にし、それらについて検討し、療育の向上、業務の改善に繋げていくようにします。 10・法人内では、3教室合同の研修会を実施しています。また、全ての常勤職員が、勉強会を担当しており、自らの学びを深め、それを他職員に共有できる機会を設けています。非常勤職員も、「虐待防止のための研修」を受けております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	11・2025年4月に義務化されますプログラム公表に伴い、2024年10月24日に「5領域のプログラムについて」を公表しました。 12・個別支援計画書の作成にあたっては、面談で保護者と子どもの現状、成長や課題、療育目標等についてしっかりとお話をしています。それをもとに支援会議で児童発達支援管理責任者を中心として、職員参加で子どもの支援についての話をし、職員共通理解のもとで最
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	12・個別支援計画書の作成にあたっては、面談で保護者と子どもの現状、成長や課題、療育目標等についてしっかりとお話をしています。それをもとに支援会議で児童発達支援管理責任者を中心として、職員参加で子どもの支援についての話をし、職員共通理解のもとで最
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	適、最善と考えられる個別支援計画書の作成をしています。  21・朝礼、終礼を必ず行い、その日のお子様の支援についての職員での共有し、より良い支援についての話し合いをしています。また、その他の業務につきましても、報告、相談、連絡を職員間に徹底するようにしています。法人としてビジネスチャットツールの導入がされており、業務に関する連絡がスムーズに行われるような環境となっています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	26、27・教室内で療育が完結してしまう事なく、関係機関連携、事業所間連携等取りながら、包括的な支援が必要と感じています。サービス担当者会議等が開かれる際には、児童発達支援管理責任者が積極的に参加したり、保護者の希望を受け事業所間の連携を進めたりするなどして、包括的視点からの支援を目指しています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	30・こちらを卒業し障害者福祉サービス事業所等へ移行したケースがまだないため、情報提供を行ったことがありませんが、今後、そのようなことが必要になった場合は、積極的に情報提供を行い、スムーズな移行となるように努めます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	31・モニタリング等でセンター職員が来所した際は、支援に関する相談や助言を受けるようにしています。またハッピーテラス本部より訪問研修があり、スーパーバイズを受けています。非常勤職員も、必要な内容の場合は一緒に受けるようにしています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	32・放課後児童クラブや児童館との交流や地域の子どもとの活動は、時間、場所等から難しく、ほとんど行われていませんが、外出活動で公園で遊ぶ際に、場面によっては公園にいる地域の子どもと一緒に遊ぶことがあります。また、積極的に地域で開催されるイベント等のチラシを教室内に置くなどして、情報提供を行っています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	20%	80%	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	80%	20%	35・ペアレントトレーニング等の具体的な支援プログラムの提供は行っていませんが、保護者のご家庭での療育等についての相談には、積極的に対応しています。今後は、職員の家族支援の知識や力の向上のための研修も必要と考えています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	40・教室としての保護者同士やきょうだい同士を繋ぐ支援を行っていません。系列の児童発達支援教室が開催する、保護者の就学の体験を聞く会に職員が参加し、教室の支援や活動を伝えることで、就学前の保護者が就学と一緒に放課後等デイサービスの利用についての見通しを持てる機会を持つようにしています。今後は、その経験をもとに、ニーズに応じて保護者様が経験や情報を交わすことが出来るような場の提供、中学校進学をテーマとする会の開催を考えていきたいと思います。  45・教室に地域の方を招くことはなかなかできませんが、季節行事等を通して、地域の方と交流する場を持つようにしています。また、その活動を子ども達と手紙や制作活動の作品等でまとめ、交流した方にお礼として届け、それを掲示していただくことで、地域の方にも教室の活動を知っていただくような機会となるようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	46・各種マニュアルは策定されていますが、充分に実用的なものではありません。今後実用に向けて改定が必要と考えています。また、今回の保護者アンケートにより、マニュアルの周知が十分でない意見がありましたので、積極的に周知に努めます。  47・お子様の服薬、持病の必要な対応について等については、保護者から詳しく情報を得るようにし、それらを職員間で共有しています。また、てんかん発作等の、支援内に対応が必要となることが考えられるものについては、保護者からの情報をもとに、その子どもに合わせた緊急時の対応マニュアルを作成しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	